



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2022-2023年度 国際ロータリーのテーマ

2023年



クラブ会報・情報委員会 金子勇人・飯塚荘一・坪井良廣・吉田栄佐・園田誠

SERVE TO CHANGE LIVES
R.I 会長 ジェニファーE. ジョーンズ

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。
パストガバナー 前原 勝樹

会長 澤田匡宏 幹事 久保田寿栄

4月3日号

第3213回例会 (3月27日(月)第3例会)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. 来訪者紹介
4. ロータリー情報アワー
5. ポール・ハリス・フェロー表彰
6. 米山奨学生カウンセラー委嘱状の伝達
7. 会長の時間
8. 幹事報告

9. 委員会報告
10. 卓 話
「新会員卓話」

藤田 恵二 君
齊田 泰史 君
野口 秀明 君

11. 点 鐘

ようこそビジター

〈米山奨学生〉姚 丹 様

ロータリー情報アワー

ロータリー情報アワー副委員長 森 末廣 君
本日のロータリー情報アワーは、今月 18 日に行われた
新入会員セミナーの報告をさせていただきます。
2840地区入会歴3年未満の会員が対象で約60名が
参加されました。当クラブからは、横山会員と齊田会員の
2名の方が出席されました。午後1時30分から始まり、
最初に田中久夫パストガバナーから新会員に向けて30
分程度の講演がありました。講演の前に、新会員受講
者に田中パストガバナーが書かれた書籍「ロータリー
クラブに入ろう」がプレゼントされました。この本は、6回も
増刷されて、1万2千部出回っているそうです。
田中パストガバナーの講演の内容は、「人生の豊かさ・
人生の目的」すなわち「人が生きる意味」とは何か？を
力強く語っておられました。
その中で田中パストガバナーは、これまで多くの先覚者
たちが、それを説いてきたといわれ、例えば、新渡戸稲
造や内村鑑三といったクリスチャンが言う人生の目的は、
「品格の完成」にあるという。また仏教・真言宗の教えで
は、人生の目的とは「心を磨くこと」だということです。
それから昨年亡くなられた京セラの稲盛和夫氏は、人
生の目的とは「心を磨き、魂を高めること」であり、「それ
は生きる目的、人生の意義そのもの」だと言い切ってお
られます。ロータリーは、これらと同義の自分磨きの旅を
経験することができる。そこにロータリーの魅力があると
田中パストガバナーは言われていました。

その後各分区に分かれ、分科会のパート1・パート2が
ありました。第二分区は山崎ガバナー補佐と伊勢崎の
久保木ガバナー補佐がディスカッションリーダーとなり、ロ
ータリーの三大義務の一つである例会の出席、また欠
席した場合のメークの役割、方法、それから地区への出
向等々の説明、意見交換がなされました。
新入会員の皆さん、例会・各種事業・各種行事・クラブ
委員会・地区出向等とにかく積極的に参加することに
意義があります。そして自分の成長にもつながります。
どうか積極的に参加し、ロータリーライフを楽しんでくだ
さい。それがさらにクラブが元気になる秘訣だと思います。
最後に、元来ロータリーの奉仕理念は、高度な哲学
や宗教から出発したものではなく、人間が本来生まれな
がらに心の奥に持っている目に見えない精神、他人に
役立ちたいという心を発掘し、育てていくことなのです。
これがロータリーの生命力であり、また原点なのです。
言い換えれば、ロータリーの究極の目的は、人間性の
向上というロータリーでの成長を通じて、事業、業界、そ
して社会の向上に貢献する「素晴らしい真のロータリア
ンを育てること」であり、「人作り」こそがロータリーの使命
であるということです。

ポール・ハリス・フェロー表彰

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
4回目 前原 勝君
1回目 飯塚 荘一君
後藤 圭一君
高橋 弘史君
ポール・ハリス・フェロー
田中 淳君
Randolph 留利子さん



米山奨学生 カウンセラー委嘱状の伝達

青木 貴子さん



会長の時間

皆さん、こんにちは。桜も例年より早く満開になりました。桜が咲くと気分が明るくなります。早くコロナが収束して明るい生活が出来ることを願わずにはいられません。もう少し、感染対策には注意が必要ですのでご協力をお願い致します。

さて、3月5日に開催されました創立70周年記念式典、並びに祝賀会のご来賓の方々には既に御礼状は送付済みです。スポンサークラブであります足利ロータリークラブ様には、3月17日に桑原70周年特別委員会副委員長と共にお礼を兼ねてメイクに行っていました。快く歓迎をいただき例会中に時間をいただき御礼の挨拶をさせていただきました。現在の会員総数は23名とのことでした。

また、3月22日には、桐生4ロータリークラブの会長・幹事会が開催されました。森ガバナーノミニーと松島会計長にもご参加いただきまして、森ガバナー年度のPET S・SETS、地区協議会、地区大会、ゴルフ大会等の日程確認を致しました。桐生の4ロータリークラブで森ガバナー年度を盛り上げる気運が醸成されました。皆さんで森ガバナー年度の成功を支えて行きましょう。よろしくお祈りします。

米山奨学生は4月から変わります。引き続き青木貴子さんがカウンセラーを引き受けていただきました。青木さんには心より感謝申し上げます。現在の奨学生の姚丹さんは、来週4月3日の観桜会に出席され最後の挨拶をしていただく予定です。新しい奨学生の方にも引き続き皆さんの温かいご支援ご指導をよろしくお願い致します。

《報告》

- ・3/17(金)足利 RC メイク 会長・桑原 70 周年特別委員会副委員長
- ・3/18(土)新会員セミナー 横山君・齊田君・森ガバナーノミニー・松島地区研修委員
- ・3/20(月)休会
- ・3/22(水)桐生4RC 会長幹事会 会長・幹事・森ガバナーミニー・松島会計長

《予定》

- ・例会終了後、次年度理事役員予定者会議
- ・3/30 ゴルフ部研修会
- ・3/31 家族会役員会
- ・4/1 富岡 RC 創立 60 周年記念式典
会長・幹事

幹事報告

- ・ガバナー事務所より「ポリオ撲滅チャリティーゴルフコンペ」の御礼とご報告が届いております。
- ・保坂ガバナーエレクトより「2023-2024 年度会長エレクト次年度幹事研修セミナー」のお礼状が届いております。
- ・日本てんかん協会より「からっかぜ」が届いております。
- ・桐生西、桐生赤城の各 RC より週報到着。
- ・次週 4 月 3 日例会は、観桜会です。点鐘:午後 6 時 30 分、場所:海鮮ダイニング美喜仁館となりますので、お間違えの無いようお気をつけ下さい。
- ・例会終了後、次年度理事役員予定者会議を開催致します。関係理事役員の方は、よろしくお祈り致します。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(令和5年3月27日)

総員71名:出席46名

令和5年3月6日例会修正出席率:100%

令和5年3月13日例会修正出席率:76.6%

😊 ニコニコボックス

澤田匡宏君…桜が満開になりました。皆様のお心を楽しめる事で満開になりますようにご祈念申し上げます/飯塚荘一君…藤田恵二君卓話楽しみにしています/飯塚荘一君…齊田泰史君卓話楽しみにしています/Randolph 留利子さん…ホノルル RC に出席してきました。楽しかったです/藤田恵二君、齊田泰史君、野口秀明君…卓話させていただきます。

卓話



「新会員卓話」

藤田 恵二 君

みどり市で清掃会社を営んでいます。タウンわたらせのエッセーを書いて評判でしたので、お話をさせていただきます。好きなこと書いていいよと言われても真面目なことやもっともらしい事を書いたら、僕を知る人はひっくり返るだろうし、適当過ぎてもいかなものかと・・・ちょっと頑張って書いてみました。何をお話しようかと家の中を見渡したら大きな犬たちがつぶらな瞳で見つめていました。我が家の黒いラブラドル『むつき

&ココ』です。「ペットの話にしよう！」と決めました。ワンちゃんの気持ちを詩にした「犬と 10 の約束」というものがあります。

- ①私と気長に付き合ってください
- ②私を信じてください
- ③私にも心があることを忘れないでください
- ④言う事をきかないときは理由があります
- ⑤私にたくさん話しかけてください。人の言葉は話せないけれど、わかっています。
- ⑥私をたたかないで。本気になったら私の方が強いことを忘れないで
- ⑦私が年をとっても仲良くしてください
- ⑧私は 10 年位しか生きられません。
- ⑨あなたは学校もあるし友達もいます。でも私にはあなたしかいません
- ⑩私が死ぬとき、お願いです、そばにいてください。どうか覚えていてください、私がずっとあなたを愛していたことを。「ずっと一緒にいようね」と家族になりましたよね。

我家にはラブラドル2頭のほかに「めめ」というキャバリアがいました。目がぱっちりした本当にかわいい子でしたが、その目は見えていませんでした。出会いは仕事の打合せに行く途中のせまい裏通りで道の真ん中で犬がクルクルと回っていたところを保護しました。保護した日に病院を受診すると、やはり最悪の飼育状況と栄養状態だったらしく、目は見えず、後ろ足はほとんど立ってられない状況でした。ほんの少しでも目が見えるようになったらいいな～と願いを込めて「めめ」と名付け、トリミングをしたら見違えるほどかわいらしく顔が凛々しくなった気がしました。ラブラドル達ともすぐに仲良くなり、毎日歩く練習をしたり、見た目や仕草は元気を取り戻しつつありましたが、老犬だったこともあり脳梗塞を起こし発症からわずか 2 日で息を引き取りました。保護してからちょうど 1 年が過ぎた時でした。幸いめめは家族として看取ることができましたが、辛く悲しい思いをしている子がたくさんいることを知ってください。偉そうなことは言えませんが、どんなに年老いても、どんな姿になっても最後まで大事な家族でいることを約束してあげてください。彼らはそれしか望んでいないのですから。



「新会員卓話」
齊田 泰史 君

この度、今年 2023 年 1 月に、飯塚先輩からご紹介頂き、歴史と伝統ある桐生ロータリークラブに入会させて頂きました齊田泰史と申します。

まだきちんとご挨拶できていない先輩方がいらっしゃいましたら、大変申し訳ありません。

仕事は大同生命保険群馬支社で企業保険の福利厚生法人営業をしております。それまでは、インターネット企業で広告営業をしておりました。

私、生まれは前橋で、幼少期は父親の転勤で東京・横浜に住んでおりました。ですので、上毛かるたを大人になってから覚えました。

中学・高校は前橋で育ち、中央高校(現:中央中等教育学校)卒業後は、日本大学商学部に進学しました。当時の風潮としてダブルスクールの傾向があり、専門学校で資格取得のための勉強をしながら大学に通う同級生が多くおりましたが、勉強はいつでもできるかと考えていて、何か一つをやり遂げようと思い、体育会競技スキー部に入部しました。入部当初は陸上部か自転車部かと思うくらい走り込みや競輪選手並みの自転車漕ぎをして体力づくりをして毎日やめたいと思っていました。しかし技術や競技タイム以上にここで培った経験と仲間が今となってはとても大切な財産のひとつとなっております。

そしてなぜいま保険の仕事をしているかといいますと、父親が他界してしまったのがひとつのきっかけです。高度経済成長期に企業戦士として勤め上げた金融機関を定年退職後に企業を立ち上げ、事業をしていました。私は、東京で仕事をしておりましたが、亡くなってその事業と従業員、家族共々、保険に恩恵を受けて事業は譲渡して、米寿を迎える母親もおりますので、そのタイミングで東京を引き上げ群馬に戻ってきました。その保険を恩恵有難みを少しでも伝えることができたという思いで、企業保険の仕事で世の中に貢献していこうと思っております。生命保険の起源のお話をさせて頂きたいと思いますが、12 世紀の中世ヨーロッパで、ギルドという商工業組合で、仲間同士で不測の事態が起きたときのために、少ない掛け金で助け合ったというものであります。おひとりおひとりそれぞれの 例えば 1000 円や 10 ドルといった掛け金の合計がまとまって数千万あるいは 1 億円の金額が、まったく見ず知らずの方の本当に困ったときの不測の事態を助けることができる相互扶助で成り立っています。そういった意味では、このロータリークラブの奉仕活動は親和性があるような気がしております。今回のこのご縁を大切にして、桐生みどり地域に何らかのかたちで奉仕活動を通して貢献できるようにロータリーの精神を日々学んでいき、人生の宝物を見つけていけたらと思います。今後ともよろしくお願い致します。



「新会員卓話」
野口 秀明 君

今日は、私の父の話させて頂きます。浄土宗讃仰会という所が出している浄土という月刊誌の平成 30 年 1 月号、今から 5 年前の寺院紀行というコーナーに私の実家、大吉寺が特集されたものを使わせていただきます。世田谷の大吉寺と聞くと直木賞作家の寺内大吉を思い浮かべる方もいるでしょう。作家以外にも各種解説者としてベレー帽でテレビにも登場していたお坊さんです。大吉寺 29 世、東京港区にある浄

土宗大本山増上寺 87 世、本名は成田有恒。平成 20 年に亡くなっております。

大吉寺 30 世成田昌憲住職。愛知県岡崎市の浄土宗寺院、善入院の次男、今やその名はスポーツ界では世界に知れ渡っていて、東京オリンピック招致の立役者の一人である。現在の肩書は世界カヌー連盟の執行委員、アジアカヌー連盟会長、日本カヌー連盟会長と世界での知名度では間違いなく先代を超えている。リオデジャネイロオリンピックでは羽根田卓也選手がカヌーのスラロームでアジア初のメダリストとなったのは記憶に新しいが、オリンピックで日本がまだメダルを取っていない 7 つの競技の仲間入り、成田住職も羽根田選手同様満面の笑みを湛えた。成田住職がカヌーを志したきっかけは高校 3 年生の時、昭和 39 年の東京オリンピックの表彰式を見て『メダルを取る』と心を決めたという。高校で始めた和弓では優勝しても弓と賞状しか貰えないし、そもそもオリンピックに和弓はない。そんな時、大正大学のカヌー部への入学を決意する。「僕はね、大学ではなくカヌー部に入ったのだ」と成田住職は笑う。言葉通り入学式前から合宿所でカヌーを漕ぎ出し、練習に明け暮れる。和弓で鍛えた下半身を活かし細身ながら全身筋肉の肉体を作り上げる。そして 4 年生でメキシコオリンピックを迎える。スピードを競う 2 人乗りのカヌー競技のオリンピック代表選考会で優勝するも参加標準記録に届かず、オリンピック出場を逃す。しかし、メダルへの夢は消えることなく、種目をスラロームに変更し、卒業後は善入院の檀家が経営する東京の会社に籍を置く。が、社会人とは名ばかりで 6 月からの 4 ヶ月間、カヌー仲間 3 人でフランスへ渡る。フランスナショナルチームの練習や大会に参加。帰国すると日夜トレーニングに励み体力作りに専念。翌年、翌々年の同じ時期には単身でミュンヘンオリンピック会場となるドイツのアウグスブルクへ。4 か月半、本番のコースで練習に打込む。卒業後の 3 年間は武者修行時代となった。そして、みごとミュンヘンオリンピックの日本代表に。

1972 年 8 月ミュンヘンオリンピックが開幕、夢に向けてスタートが切られた。スラロームは 600m もの急流を下りながら 24 個あるゲートをくぐり抜け、時間を競う競技だが 7 番目のゲート転覆、その瞬間メダルへの夢が潰れた。世界の壁は厚かった。8 年間のカヌー漬けの青春が終わりボーっとする日々が続いたという。そんな時、先代住職の長女との見合いの話が持ち上がる。ミュンヘンオリンピックに観戦に行っていたというから、この縁談先代住職が望んだものだったのだろう。翌年には結婚。そして大正大学カヌー部コーチに就任。大学のカヌー部、日本のカヌー界の為に東奔西走の日々となる。その行動力や決断力、選手時代の成績、そして何より人柄もあり、日本はもとより世界のカヌー界での重鎮となった。成田住職の魅力が伺え

るエピソードを。アジアカヌー連盟副会長から世界の役員へいきなり立候補した時の事。当初 18 票と当選ラインの 50 票にはるかに届かないはずが、フランス、ドイツの武者修行時代に一緒にメダルを目指した選手達が各国のカヌー協会の会長などの要職についていたことから『おおっ成田、お前が役員選に出るのか。それなら応援するぞ』と旧友の応援の輪が広がり、なんと 55 票を獲得、大方の予想を覆し見事当選。『30 年ぶりに再会した仲間が皆応援してくれた』のだ。そして、今やカヌーが盛んな欧州に対抗するアジア、アメリカ、アフリカというトリプル A の 82 ヶ国を味方につけ、カヌー艇の長さやコースの距離の変革を提案、着実に歩みを進めている。他の競技での世界に対してこれだけ影響力を持つ日本人はいないという。しかし、これだけ世界を飛び回る中で大吉寺は大丈夫なのだろうか。聞けば年間 270 日も海外という年もあったという。『先代からこの寺の住職は外に出る、という風習(笑)があつてね、大丈夫なのです』成田住職は平成 21 年に日本スポーツ界への多大なる貢献から藍綬褒章を受章されている。勲章をもらえるほど活躍する住職は檀信徒にとってはむしろほこりになり、大いに励まされるという。再来年に迫った東京オリンピック、その立役者であり、成功に向け今日も世界を飛び回っている成田住職。海外からの要人を大吉寺で迎えることも、日本との縁を深められる一因である。2 回目の東京オリンピック開催に世田谷のお寺が一役買っている。

本日の食事



庄屋久平

❀ 本日のお花 ❀



家族会役員会

3 月 31 日正午たつ吉にて家族会役員会を開催する事が出来ました。コロナウィルス感染拡大予防の為、中止となっていました恒例の家族会旅行も今年度は、近場で行けたら良いのではと計画することになりました。

